講義名	消費者行動特論			授業	形態	その他					
		984#40 mm = n+m	46 HD (14 NSS C) 4 D+75			必要に	むじて資料を配付します。 ■				
担当教員	綿貫 真也	開講期・曜日・時間	後期 火曜日 4時限			90 ち入り 『新しし 『消費』	4) 川消費者行動。,清水聰 著,千倉書房 お行動のニュー・ディレクションプ。 阿部園派	· 編基 問而学院士学出版会			
		単位数 2 履行	修開始年次 1年生	ナンバリング・コ		『心脳』	い消費者行動』,清水聰 著,千倉書房 皆行動のニュー・ディレクションズ』,阿部周迠 マーケティング』,ジェラルド・ザルトマン,ダ 者行動論 マーケティングとブランド構築への原	イヤモンド社 5月』、青木幸弘ら著、有斐閣			
		+12XX - 18	多勝和千八 1 年主	- F				7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7			
題と概要						授業計	mi .				
本講義では、配付らいます、受講者	対資料を用いて消費者行動論で重要な理論を解説します。 レガミ 首個々の研究テーマと関連させて学び、理論の理解を深めます。	vーな理論から先端のアプロ -	・チまで解説していきます。!	問題の立て方と適切な実証手法の選択	択を意識しながら論文を読んでも						
						ポート では できます できます できます できます できます できます できます できます	消費者行動とは何か(全講美の概説) 全体像を示し、この授業の到達目標等について記 : 1 時間)テーマに関して、マーケティング環功 : 3 時間)資料の見直し,課題についての考察	即する。 Eにおける自身の消費者行動をシミュレーショ	コンすること		
						第2回 消費者 (有智	消費者行動とマーケティング 行動とマーケティングのつながりについて基本的 : 1 印間)テーマに関して、マーケティング境り : 3 時間)資料の見宜し、課題についての考察	コに理解する。 における自身の消費者行動をシミュレーショ	コンすること		
						第3回 家事の (後習	消費者行動の変化と消費者を取り巻く環境 外部化や消費の多様化など、消費者ニーズと消費 : 1 時間)テーマに関して、マーケティング環 : 3 時間)資料の見宜し,課題についての考察	者を取り巻く環境の変化を学ぶ。 別における自身の消費者行動をシミュレーショ	コンすること		
達目標						第4回 情報処理 (復習	消費者の情報処理 理システムとして消費者を捉え、消費者の認知的 : 1時間)テーマに関して,マーケティング環境 : 3時間)資料の見直し,課題についての考察)な情報処理メカニズムを理解する。 是における自身の消費者行動をシミュレーショ	1ンすること		
1 . 清陽者行動論の基本ビアルや観念が説明できる。 2 自分や他人の消費者行動の展生を理解する。 3 自分の間心領域を見つけ、自分の研究に役立てられる知識を習得する。					第5回	消費者の購買意思決定 思決定プロセスを学ぶと共に、消費者の情報処理 : 1 時間)ティンク境計 : 3 時間)資料の見直し、課題についての考察					
						2016日	消費者の分析 を調査する手法について解説する。 : 1時間)テーマに関して、マーケティング環り : 3時間)資料の見直し、課題についての考察				
							消費者の分析 プで調査(インタビュー、アンケート、観察等) : 1時間)テーマに関して、マーケティング環境 : 3時間)資料の見直し、課題についての考察				
						第2回	消費者の知覚と能度				
出課題 講義内課題、中間	ポート課題、期末レポート課題を課します。						念をはじめとする内的ブロセスについて解説する: 1時間)テーマに関して,マーケティング環切: 3時間)資料の見直して,課題についての考察:				
							消費者の動機づけと関与 理の動機としての問題認識、消費者が動機づけら : 1時間)テーマに関して、マーケティング環り : 3時間)資料の見直し、課題についての考察				
						第10[情報処理 (海習 (復	回 消費者の能力と知識 理消費者の能力と知識の : 1時間)デーマに関して,マーケティング環境 : 3時間)資料の見直し,課題についての考察	「学ぶ。 とにおける自身の消費者行動をシミュレーショ	コンすること		
						消費者((予習 (復習	回 消費者の感覚と感情 の感覚や感情と消費者行動のつながりを解説する : 1時間)テーマに関して,マーケティング環境 : 3時間)資料の見直し,課題についての考察				
明 / 1.ポート						第125	TO THE PERSON AS A PARTY.				
						次世代	의 消算者の分析 マーケティングリサーチ手法(ニューロマーケ)	・ィング . データサイエンスの応用) について	解説		
	・や小テスト等)に対するフィードバックの方法						回 消費者の分析 マーケティングリサーチ手法(ニューロマーケラ 態(アクティ プ・ラーニング)	・ィング,データサイエンスの応用)について	解説		
	- や小テスト等)に対するフィードバックの方法 フィードバックを行います。							・イング,データサイエンスの応用)について	解説	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済	ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
							態(アクティブ・ラーニング)	・ィング,データサイエンスの応用)について	解説	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ま エ:グループワーク	Eせ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
							態(アクティブ・ラーニング) ア:PBL(課題解決型学習)	・ィング,データサイエンスの応用)について	解説		ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
							態 (アクティブ・ラーニング) ア: PBL (課題解決型学習) ウ: ディスカッション、ディベート		解説	エ:グループワーク	ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
							獣(アクティブ・ラーニング)ア: PBL(課題解決型学習)ウ: ディスカッション、ディベートオ: ブレゼンテーション		「解説	エ:グループワーク	ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
						授業形	獣(アクティブ・ラーニング)ア: PBL(課題解決型学習)ウ: ディスカッション、ディベートオ: ブレゼンテーション	のいずれにも該当しない場合)	解説	エ:グループワーク	ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
講義内で教員がフ						容業認,	懇 (アクティブ・ラーニング) ア:P8L(護題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目	のいずれにも談当しない場合)		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ 関係の基準	フィードバックを行います。					容業認,	 糖 (アクティブ・ラーニング) ア: PRL (護題解決度学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目の 	のいずれにも談当しない場合)		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ 関係の基準	フィードバックを行います。	7ロスに提出)で評価します。				容業認,	 糖 (アクティブ・ラーニング) ア: PRL (護題解決度学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目の 	のいずれにも談当しない場合)		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ 配の基準 場義和課題70 ⁹ 単位修行にはの扱	7ィードバックを行います。 6、期末レポート課題30%(WSワードを使用し,キャンバス/ 3勝内課題、期末レポート課題の労出が必済となります。 1714、17度とより、必ず確認し、	7ロスに提出)で評価します。 期限内に提出してください。				容業認,	 糖 (アクティブ・ラーニング) ア: PRL (護題解決度学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目の 	のいずれにも談当しない場合)		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ 関係の基準	7ィードバックを行います。 6、期末レポート課題30%(WSワードを使用し,キャンバス/ 3勝内課題、期末レポート課題の労出が必済となります。 1714、17度とより、必ず確認し、	7ロスに提出)で評価します。 期限内に提出してください。				容業認,	 糖 (アクティブ・ラーニング) ア: PRL (護題解決度学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目の 	のいずれにも談当しない場合)		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ 配の基準 場義和課題70 ⁹ 単位修行にはの扱	7ィードバックを行います。 6、期末レポート課題30%(WSワードを使用し,キャンバス/ 3勝内課題、期末レポート課題の労出が必済となります。 1714、17度とより、必ず確認し、	7ロスに提出)で評価します。 期限内に提出してください。				容業認,	 糖 (アクティブ・ラーニング) ア: PRL (護題解決度学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目の 	のいずれにも談当しない場合)		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ 配の基準 場義和課題70 ⁹ 単位修行にはの扱	7ィードバックを行います。 6、期末レポート課題30%(WSワードを使用し,キャンバス/ 3勝内課題、期末レポート課題の労出が必済となります。 1714、17度とより、必ず確認し、	7ロスに提出)で評価します。 期限内に提出してください。				容業認,	 糖 (アクティブ・ラーニング) ア: PRL (護題解決度学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目の 	のいずれにも談当しない場合)		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ 配の基準 場義和課題70 ⁹ 単位修行にはの扱	7ィードバックを行います。 6、期末レポート課題30%(WSワードを使用し,キャンバス/ 3勝内課題、期末レポート課題の労出が必済となります。 1714、17度とより、必ず確認し、	フロスに提出)で評価します。 期限内に提出してください。				容業認,	 糖 (アクティブ・ラーニング) ア: PRL (護題解決度学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目の 	のいずれにも談当しない場合)		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ 配の基準 場義和課題70 ⁹ 単位修行にはの扱	7ィードバックを行います。 6、期末レポート課題30%(WSワードを使用し,キャンバス/ 3勝内課題、期末レポート課題の労出が必済となります。 1714、17度とより、必ず確認し、	アロスに提出)で評価します。 期限内に提出してください。				容業認,	 糖 (アクティブ・ラーニング) ア: PRL (護題解決度学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目の 	のいずれにも談当しない場合)		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ 配の基準 場義和課題70 ⁹ 単位修行にはの扱	7ィードバックを行います。 6、期末レポート課題30%(WSワードを使用し,キャンバス/ 3勝内課題、期末レポート課題の労出が必済となります。 1714、17度とより、必ず確認し、	7ロスに提出)で評価します。 期限内に提出してください。				容業認,	 糖 (アクティブ・ラーニング) ア: PRL (護題解決度学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目の 	のいずれにも談当しない場合)		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	フィードバックを行います。 、脚末レボート課題30%(WSワードを使用し、キャンパス/ 調解内護風・期末レボート課題の受出が必須となります。 示は、授業とキャンパスクロスのみで行います。必ず確認し、 ます。	7ロスに提出)で評価します。 期限内に提出してください。				受業形! 卒業認 本講義	 寒 (アクティブ・ラーニング) ア:P8L(護題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目のは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知) 	のいずれにも該当しない場合) 関連 Eに転換することができる、論理的思考力を打		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ で信の基準 信頼の課題で 7 0 連 は一般では、 のような では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	7ィードバックを行います。 6、聊末レポート課題30%(MSワードを使用し、キャンバスク 講内課品 明末レポート課題の選出が必治となります。 「京は、授業とキャンバスクロスのみで行います。必予確認し、 ます。					受業形! 卒業認 本講義	 糖 (アクティブ・ラーニング) ア: PRL (護題解決度学習) ウ: ディスカッション、ディベート オ: ブレゼンテーション キ: その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目の 	のいずれにも該当しない場合) 関連 Eに転換することができる、論理的思考力を打		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ で信の基準 信頼の課題で 7 0 連 は一般では、 のような では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	フィードバックを行います。 、脚末レボート課題30%(WSワードを使用し、キャンパス/ 調解内護風・期末レボート課題の受出が必須となります。 示は、授業とキャンパスクロスのみで行います。必ず確認し、 ます。					受業形! 卒業認 本講義	 寒 (アクティブ・ラーニング) ア:P8L(護題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目のは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知) 	のいずれにも該当しない場合) 関連 Eに転換することができる、論理的思考力を打		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ で信の基準 信頼の課題で 7 0 連 は一般では、 のような では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	7ィードバックを行います。 6、聊末レポート課題30%(MSワードを使用し、キャンバスク 講内課品 明末レポート課題の選出が必治となります。 「京は、授業とキャンバスクロスのみで行います。必予確認し、 ます。					受業形! 卒業認 本講義	 寒 (アクティブ・ラーニング) ア:P8L(護題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目のは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知) 	のいずれにも該当しない場合) 関連 Eに転換することができる、論理的思考力を打		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ で信の基準 「情の基準 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	7ィードバックを行います。 6、聊末レポート課題30%(MSワードを使用し、キャンバスク 講内課品 明末レポート課題の選出が必治となります。 「京は、授業とキャンバスクロスのみで行います。必予確認し、 ます。					受業形! 卒業認 本講義	 寒 (アクティブ・ラーニング) ア:P8L(護題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目のは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知) 	のいずれにも該当しない場合) 関連 Eに転換することができる、論理的思考力を打		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ で信の基準 「情の基準 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	7ィードバックを行います。 6、聊末レポート課題30%(MSワードを使用し、キャンバスク 講内課品 明末レポート課題の選出が必治となります。 「京は、授業とキャンバスクロスのみで行います。必予確認し、 ます。					受業形! 卒業認 本講義	 寒 (アクティブ・ラーニング) ア:P8L(護題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目のは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知) 	のいずれにも該当しない場合) 関連 Eに転換することができる、論理的思考力を打		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ で信の基準 「情の基準 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	7ィードバックを行います。 6、聊末レポート課題30%(MSワードを使用し、キャンバスク 講内課品 明末レポート課題の選出が必治となります。 「京は、授業とキャンバスクロスのみで行います。必予確認し、 ます。					受業形/ 卒業認 本請義	悪 (アクティブ・ラーニング) ア:Pkl (課題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目のは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知りは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知ります。」	のいずれにも該当しない場合) 関連 Eに転換することができる、論理的思考力を打		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ で信の基準 「情の基準 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	7ィードバックを行います。 6、聊末レポート課題30%(MSワードを使用し、キャンバスク 講内課品 明末レポート課題の選出が必治となります。 「京は、授業とキャンバスクロスのみで行います。必予確認し、 ます。					受業形/ 卒業認 本請義	 寒 (アクティブ・ラーニング) ア:P8L(護題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目のは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知) 	のいずれにも該当しない場合) 関連 Eに転換することができる、論理的思考力を打		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ で信の基準 「情の基準 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	7ィードバックを行います。 6、聊末レポート課題30%(MSワードを使用し、キャンバスク 講内課品 明末レポート課題の選出が必治となります。 「京は、授業とキャンバスクロスのみで行います。必予確認し、 ます。					受業形/ 卒業認 本請義	悪 (アクティブ・ラーニング) ア:Pkl (課題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目のは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知りは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知ります。」	のいずれにも該当しない場合) 関連 Eに転換することができる、論理的思考力を打		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ で信の基準 「情の基準 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	7ィードバックを行います。 6、聊末レポート課題30%(MSワードを使用し、キャンバスク 講内課品 明末レポート課題の選出が必治となります。 「京は、授業とキャンバスクロスのみで行います。必予確認し、 ます。					受業形/ 卒業認 本請義	悪 (アクティブ・ラーニング) ア:Pkl (課題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目のは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知りは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知ります。」	のいずれにも該当しない場合) 関連 Eに転換することができる、論理的思考力を打		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
課義内の変響を受けない。 「個の変響を使うない。 「個の変響によっている。 「個の変響によっている。 「ののではない。」 「ののではない。 「ののではない。」 「ののではない。」 「ののではない。」 「ののではない。」 「ののできない。 「ののできない。 「のできない。 「のでできない。 「のでできない。 「のできない。 「のでできない。 「のでできない。 「のでできない。 「のでできない。 「のでできない。 「のでできない。 「のでできない	7ィードバックを行います。 6、聊末レポート課題30%(MSワードを使用し、キャンバスク 講内課品 明末レポート課題の選出が必治となります。 「京は、授業とキャンバスクロスのみで行います。必予確認し、 ます。					受業形/ 卒業認 本請義	悪 (アクティブ・ラーニング) ア:Pkl (課題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目のは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知りは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知ります。」	のいずれにも該当しない場合) 関連 Eに転換することができる、論理的思考力を打		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
講義内で教員がフ で信の基準 「情の基準 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	7ィードバックを行います。 6、聊末レポート課題30%(MSワードを使用し、キャンバスク 講内課品 明末レポート課題の選出が必治となります。 「京は、授業とキャンバスクロスのみで行います。必予確認し、 ます。					受業形/ 卒業認 本請義	悪 (アクティブ・ラーニング) ア:Pkl (課題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目のは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知りは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知ります。」	のいずれにも該当しない場合) 関連 Eに転換することができる、論理的思考力を打		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
議義内で教員がフーター () () () () () () () () () (7ィードバックを行います。 6、聊末レポート課題30%(MSワードを使用し、キャンバスク 講内課品 明末レポート課題の選出が必治となります。 「京は、授業とキャンバスクロスのみで行います。必予確認し、 ます。					受業形/ 卒業認 本講義 実務経	悪 (アクティブ・ラーニング) ア:Pkl (課題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目のは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知りは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知ります。」	のいずれにも該当しない場合) 関連 Eに転換することができる、論理的思考力を打		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
議義内で教員がフート (価の基準 準) (価の基準 準) (機) (機) (機) (機) (機) (機) (機) (機) (機) (機	7ィードバックを行います。 6、聊末レポート課題30%(MSワードを使用し、キャンバスク 講内課品 明末レポート課題の選出が必治となります。 「京は、授業とキャンバスクロスのみで行います。必予確認し、 ます。					受業形/ 卒業認 本請義	悪 (アクティブ・ラーニング) ア:Pkl (課題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目のは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知りは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知ります。」	のいずれにも該当しない場合) 関連 Eに転換することができる、論理的思考力を打		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
議義内で教員がフーター () () () () () () () () () (7ィードバックを行います。 6、聊末レポート課題30%(MSワードを使用し、キャンバスク 講内課品 明末レポート課題の選出が必治となります。 「京は、授業とキャンバスクロスのみで行います。必予確認し、 ます。					受業形/ 卒業認 本講義 実務経	悪 (アクティブ・ラーニング) ア:Pkl (課題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目のは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知りは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知ります。」	のいずれにも該当しない場合) 関連 Eに転換することができる、論理的思考力を打		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	
議義内で教員がフーター (個の基準 準) (個の基準 準) (場所) (場所) (場所) (場所) (場所) (場所) (場所) (場所	7ィードバックを行います。 6、聊末レポート課題30%(MSワードを使用し、キャンバスク 講内課品 明末レポート課題の選出が必治となります。 「京は、授業とキャンバスクロスのみで行います。必予確認し、 ます。					受業形/ 卒業認 本講義 実務経	悪 (アクティブ・ラーニング) ア:Pkl (課題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション キ:その他(AL型であるけども、以上の項目 定・学位授与の方針と当該授業科目のは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知りは、本学ディブロマポリシーにある「知識を知ります。」	のいずれにも該当しない場合) 関連 Eに転換することができる、論理的思考力を打		エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク	